

廣瀬彦太 ひろせ ひこた 軍學評論家。明治十五年七月生れ（二六二一）。明治二十七年海軍士官學校卒。海軍大佐。海軍省嘱託、海軍有終會常務幹事等。譯書に、『フリールディング・エリオット作』、『米國武官の見たる日・米英大戦争』、七年九月二十八日文新社、精文館發賣）、『ブレーク・クレーク著』、『置珠灣』（譯並解説、昭和十八年四月十五日鱒書房）等。著書に、『海軍入團讀本』（昭和十六年一月）二十五日日本共書出版株式會社）、『皇國の興廢大正洋』、『あり』（昭和十六年一月十七日興亞日本社）、『Z一旗』（昭和十六年五月）二十一日興亞日本社）、『榎本武揚・西比利亞自記一附渡蘭自記』（編、昭和十八年七月十五日東兆書院）、『山本元帥・前線より』の書簡集』（編、昭和十八年十月）二十日東兆書院）等。

